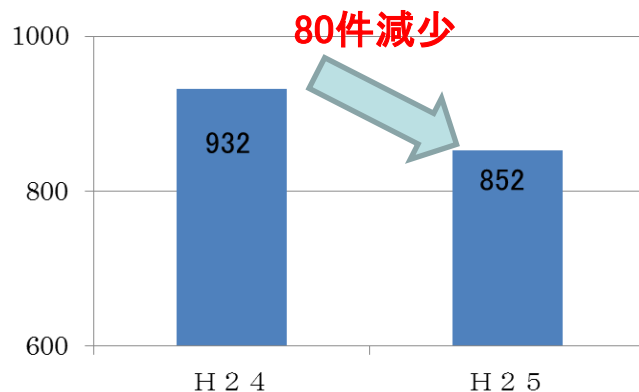


国土交通省鉄道局配布資料

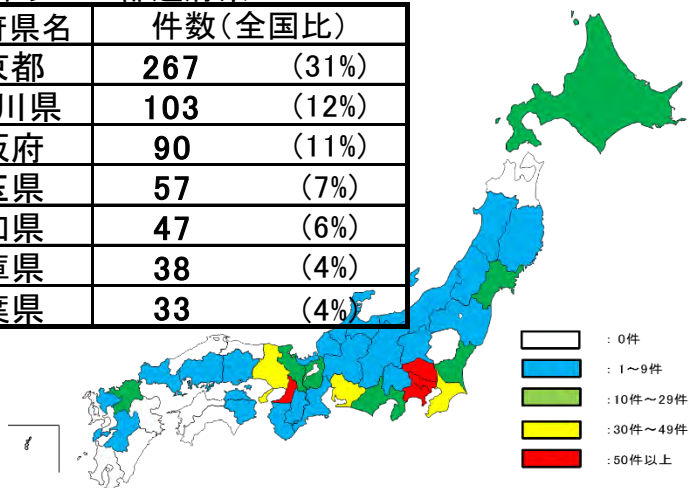
○暴力行為の発生状況

- ・全国合計：852件（H25年度）
- ・飲酒を伴った事例が約6割



○ 30件以上の都道府県

都道府県名	件数(全国比)
東京都	267 (31%)
神奈川県	103 (12%)
大阪府	90 (11%)
埼玉県	57 (7%)
愛知県	47 (6%)
兵庫県	38 (4%)
千葉県	33 (4%)



○駅構内における粗暴事犯防止対策キャンペーン

＜キャンペーンの実施状況＞

- 平成26年12月12日 渋谷駅
- 12月22日 名古屋駅
- 平成27年1月30日 新大阪駅
- 1月30日 横浜駅



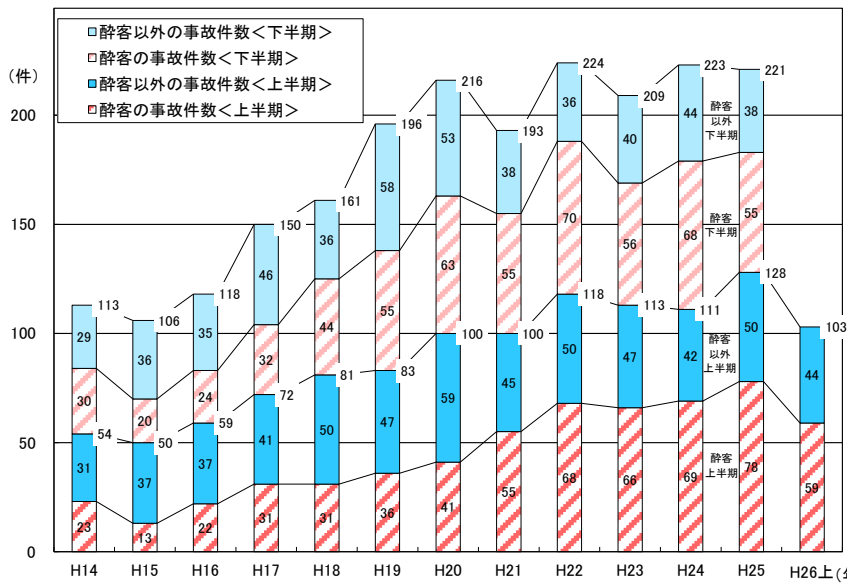
○暴力行為防止ポスターの掲出

- ・日本民営鉄道協会、鉄道事業者において、国土交通省、警察庁の後援のもと、暴力行為防止の啓発活動としてポスターを制作。
- ・駅構内、電車内で掲出。



プラットフォームにおける人身障害事故について

○ プラットホームにおける人身障害事故の件数(全国)



○ 「プラットフォーム事故0(ゼロ)運動」

ホームでの「ちどり歩き」や「歩きスマホ」は危険です。

あっ! 危ない!!

プラットフォーム事故 0 運動

線路への転落発見! すぐボタン!

線路への転落を見つけたら、すぐに非常用のボタンを押してください。決して線路には降りないでください。

非常用ボタン

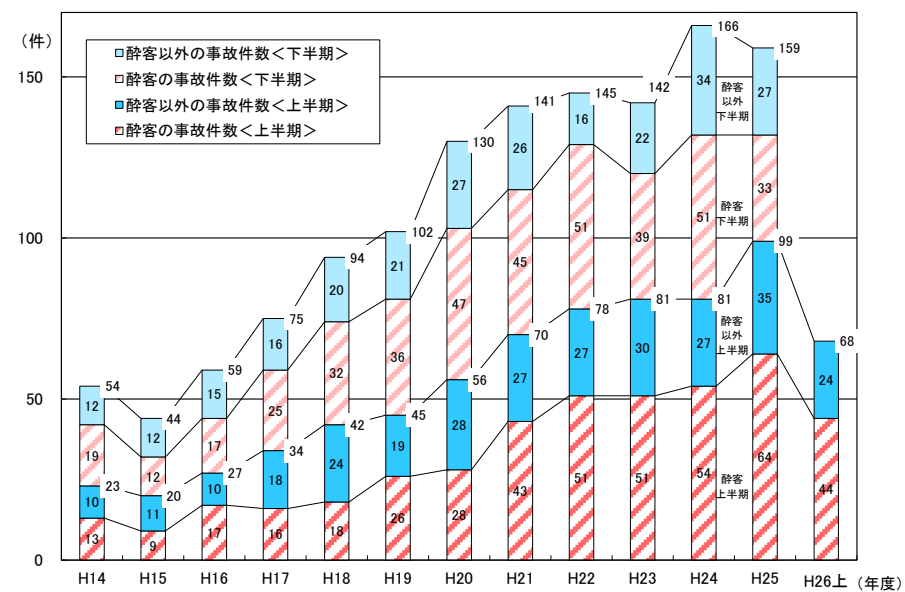
ホームで起こる人身障害事故のうち **61%** が **お酒に酔ったお客さま**です。

※平成25年度関東運輸管内集計データより

鉄道24社局合同キャンペーン

小田急・東武・京成・JR東日本・新京成・西武・相模・東急・東武東上線・東武東上線・東武東上線・東武東上線・東武東上線・東武東上線・東武東上線・東武東上線・東武東上線・東武東上線

○ プラットホームにおける人身障害事故の件数(1都3県)



注) 平成26年度の件数は上半期の速報値である。